

つながり

令和7年3月号 第74号

発行責任者
センター長：森根
編集者：西銘
沖縄市高原1-1-38
☎ 098-923-0553

地域包括支援センター

ってどんなところ？

65歳以上の方が暮らしの中で悩んだ時
どこに相談していいか分からない時など
はじめの一步として相談できる総合窓口です！



住み慣れた地域で安心して、その人らしく自立した生活を続けるためには、介護や医療・福祉といった個々のサービスだけでなく、高齢者のニーズや状態の変化に応じて、地域ぐるみで生活を総合的に支える体制が必要です。

「地域包括支援センター」はその体制の中核となり、地域の関係機関やサービス事業所、各組織と協力して地域の高齢者の様々な相談に応じます!!

例えば

介護予防の支援をします

ヘルパーやデイサービスなど
介護に関する相談に対応します

高齢者の見守り体制を
地域と共に支援します

認知症になっても安心できる
地域づくりを支援します

重層的支援体制整備事業

とは!?

地域には、8050世帯・ダブルケア・多重債務・ヤングケアラー・孤立など、色んな課題を複合して抱えた世帯があります。『重層的支援体制整備事業(重層と呼んでいます)』とは、そのような課題を抱えた世帯を、様々な専門部署が一緒になって総合的に支える仕組みを創っていく事業です。

「誰一人取り残さない支援体制を創りたい」という思いから始まったこの取り組みは、従来の分野別の支援体制ではカバーできない複雑化・複合化した課題に対応できる体制をつくることを目的としています。

ここ沖縄市では、令和4年から県の指定を受けて重層のモデル事業をスタートさせています。高齢者分野を担う地域包括支援センターとしても、分野外の問題で解決できない課題もあり重層の仕組みができることで他部署と協力して取り組んでいけたらと考えています。

与儀自治会 子ども食堂

子ども食堂は、子どもやその保護者および地域住民に対し、無料または安価で「食事と温かな団欒」を提供するため全国で行われている活動です。

与儀自治会では令和6年の夏からこの活動が始まり、比屋根小学校と連携して毎月子ども食堂が開催されてきました。

これまで利用した子ども達の人数は延べ150名!! 自治会、ボランティアの方々の活動に感謝です。



高原自治会 友愛ピクニック

2月14日、高原自治会主催の友愛ピクニックが開催されました。

大型バスで読谷村へ行き、琉球村→沖ハム工場見学→読谷ファーマーズで買い物と充実したピクニックとなりました。



琉球村ではエイサーを見ることができ、昔の沖縄の文化に触れ、美味しい食事に舌鼓、新鮮な野菜を購入。参加された皆さん、とてもお元気で最後まで賑やかな外出となりました。



認知症サポーター養成講座 in 沖縄銀行泡瀬支店



認知症サポーター養成講座って?



講師役である「キャラバン・メイト」が、地域や職域団体等を対象に、認知症の正しい知識や、つきあい方についての講義を行う住民講座・ミニ学習会などのことを、「認知症サポーター養成講座」と呼びます。認知症サポーター養成講座は、都道府県・市町村等の自治体や職域団体・企業、町会・自治会等と「キャラバン・メイト」の協働で行われ、養成講座を受講した人が、「認知症サポーター」となります。

今回、沖縄銀行泡瀬支店の職員の方々が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターの一員となりました。

認知症サポーター養成講座に関するお問い合わせは地域包括支援センター-東部南まで!

沖縄市地域包括支援センター-東部南

☎098-923-0553

地域包括支援センターは 65歳以上の方の総合相談窓口です お気軽にご相談ください

